

# 食品



## <生産量状況>

2018年の生産量は40,212,383,241トンであり、昨年と比較すると14.21%増加。特にサトウキビから作られた生砂糖、白砂糖、天然砂糖の生産量が40～45%上がった。更に継続的に拡大している国内外の消費の需要に応じて、生パーム油並びに天然パーム油、チルド・冷凍鶏肉、缶詰めツナ、缶詰めサーデインの生産量も増加している。

## <国内販売状況>

2018年の販売量は21,546,159,471トンで、前年比4.37%の増加だった。主な品目は植物油、畜産、ミルク、即席ラーメン等。経済の全体状況で見ると国内の購買力が強くなったため、消費は漸進的に改善されている。

## <輸出状況>

2018年の輸出価格は31,447.72百万USDで、前年比8.59%の増加だった。主要貿易相手国はアセアン諸国をはじめ、中国、日本、欧州であり、主な品目は米、チルド・冷凍鶏肉、加工鶏肉、缶詰めツナ、缶詰めサーデイン、砂糖、小麦粉、生ドリアン、調味料等。タイの経済が継続的に回復したため、サプライチェーンを通じて直接的かつ間接的にタイ製品の需要に貢献している。

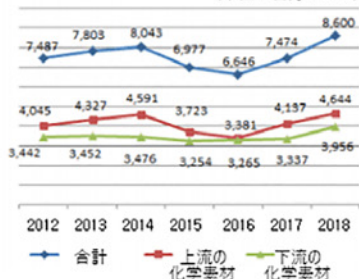
## <輸入状況>

2018年の輸入価格は14,007.78百万USDで、缶詰めツナの需要が増えたため、チルド・冷凍ツナを中心に前年比7.15%の増加となった。産業別に見ると餌産業及びミルク産業、その他食品産業が継続的に伸びている。

# 化学

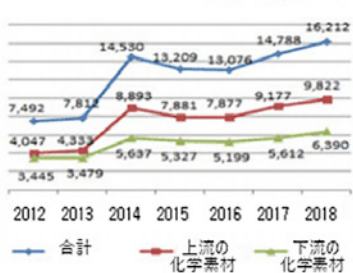
タイ化学産業の輸出額

(単位: 百万 USD)



タイ化学産業の輸入額

(単位: 百万 USD)



(出所: 2018年の産業経済レポートより)

## <生産量状況>

—

## <国内販売状況>

—

## <輸出状況>

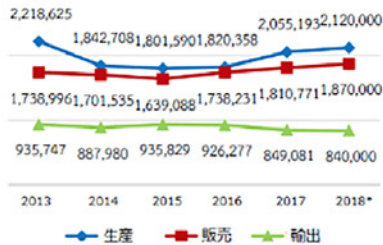
2018年の輸出額は8,600百万USDであり、前年比の15.06%増加。輸出製品は下流と上流に分けられ、上流の化学素材の輸出額は4,644百万USD(同12.25%増)で、下流の化学素材の輸出額は3,956百万USD(同18.54%増)だった。主な輸出品目は有機化学物質、化粧品、塗料、界面活性剤等。主要貿易相手国はアセアンをはじめ、中国、日本等。今後、特にアセアン諸国との取引は伸びると予想されている。

## <輸入状況>

2018年の輸入額は16,212百万USDで、前年比の9.63%増加だった。輸入製品は下流と上流に分けられ、上流の化学素材の輸入額は9,822百万USD(同7.03%増)で、下流の化学素材の輸入額は6,390百万USD(同13.88%増)だった。主な輸入品目は有機化学物質、無機化学物質、化粧品等。下流と上流の化学物質の輸入額の割合は継続的に伸びていくと予想される。

# 二輪車

二輪車の生産・販売・輸出額(台)



## <生産量状況>

2018年タイの二輪車の生産量は2,120,000台であり、前年比3.25%の(2,055,193台)増加だった。

## <国内販売状況>

2018年の国内販売台数は1,870,000台であり、前年比の3.27%(1,810,771台)増加した。

## <輸出状況>

2018年のCBU&CKD(二輪車)の輸出額は840,000台(CBUは370,000台、CKDは470,000台)となり、前年比の1.07%(849,081台)減少した。

2018年の二輪車の部品・付属品の輸出額は740百万USD。前年比の0.8%(734.12百万USD)増加した。主な輸出先はカンボジア、インドネシア、日本等。

二輪車の部品・付属品の輸出入額



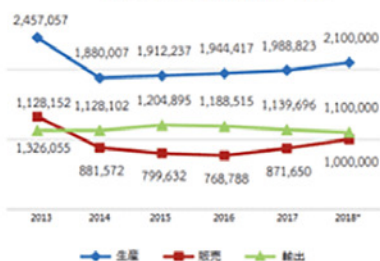
## <輸入状況>

2018年の二輪車(自動車含め)の部品・付属品の輸入額は560百万USDとなり、前年比の2.67%(545.62百万USD)増加した。主な輸入先は日本、中国、ベトナム等。

(出所: 2018年の産業経済レポートより)

# 自動車

自動車の生産・販売・輸出額 (台)



## <生産量状況>

2018年タイの自動車の生産量は2,100,000台であり、前年比5.59%(1,988,823台)の増加だった。

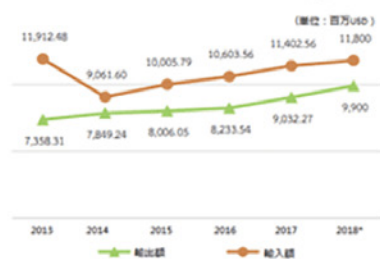
## <国内販売状況>

2018年の国内販売台数は1,000,000台であり、前年比14.72%(871,650台)の増加だった。

## <輸出状況>

2018年のCBUの輸出額は1,100,000台であり、前年比3.48%(1,139,969台)の減少だった。部品・付属品の輸出額は9,900百万USDで、前年比の9.61%(9,032.27百万USD)の減少だった。主な輸出先は日本、インドネシア、マレーシア等。

自動車の部品・付属品の輸出入額



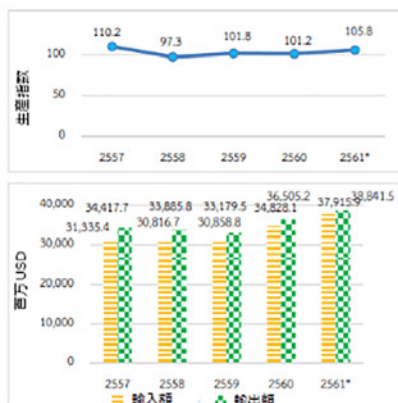
## <輸入状況>

2018年の部品・付属品の輸入額は11,800百万USDで、前年比3.49%(11,402.56百万USD)の増加だった。主な輸入先は日本、中国、ドイツ等。

(出所: 2018年の産業経済レポートより)

# 電気製品

電気製品の生産指数・輸入額・輸出額



出所：産業経済局及び電気技術研究所

## <生産量状況>

2018年の生産指数は112.9であり、前年比1.6%の減少だった。生産が減少した電気製品には洗濯機(17.5%)、電気モーター(13.7%)、冷蔵庫(10.1%)があり、洗濯機及び冷蔵庫の減少は海外(特に米国)からの発注量が減ったため。電気モーターの生産量が減った理由はモデルとバージョンの変更があったため。一方、生産量が増加した電気製品は扇風機(12.2%)、電気ポット(6.0%)、ファンコイルユニットのsplitエアコン(4.4%)、分割型エアコン(3.5%)、電子レンジ(3.2%)、コンプレッサー(1.5%)、炊飯器(1.4%)、電線(0.1%)。これらの生産量増の理由は国内外の販売量が増加したため、特にエアコンはアセアン、欧州、日本への輸出が増えた。

## <国内販売状況>

—

## <輸出状況>

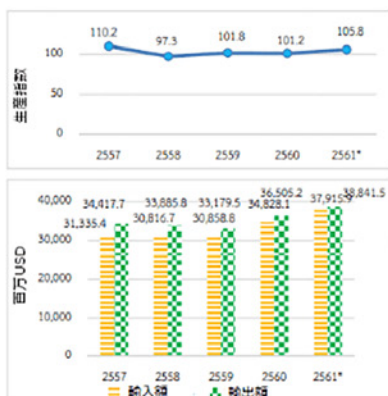
2018年の輸出額は23,371.7百万USDで、前年比1.4%の減少だった。米国がタイに対して、洗濯機及びソーラーパネルのセーフガード(緊急関税制度)を発動したことが主要因となっている。一方でエアコンは日本、アセアン、欧州への輸出量が増え、輸出額が5.2%増加した。

## <輸入状況>

2018年の輸入額は16,062.4百万USDで、前年比6.4%の増加だった。主な製品はスイッチパネル、電気制御パネル、電気回路や部品を保護するための機械で特に中国、欧州、日本からの輸入が増加した。

# 電子製品

電子製品の生産指数・輸入額・輸出額



出所：産業経済局及び電気技術研究所

## <生産量状況>

2018年の生産指数は105.8で、前年比4.5%の増加だった。生産量が増加した電子製品はハードディスク(HDD、9.1%)、モノリシック集積回路(IC、6.8%)、半導体(4.5%)、プリント基板(4.3%)、その他IC(0.3%)。増加の主な理由は世界中の需要が増えたため。特にICはスマートフォン及びタブレット等のハイテク製品に、半導体はスマート製品に欠かすことのできない素材となっている。半導体は開発も伸びた。Cloud Storageの容量増加に対応し、ハードディスクの生産も増加した。

## <国内販売状況>

—

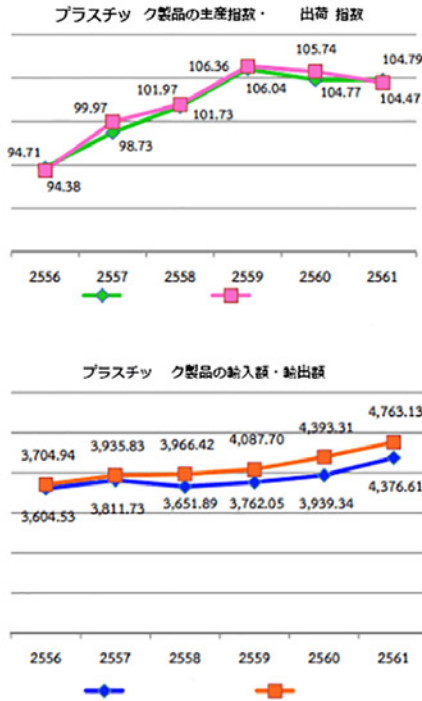
## <輸出状況>

2018年の輸出額は38,841.5百万USDで、前年比6.4%の増加だった。重要な輸出先とされる日本、中国、アセアン、欧州においては全て輸出量が増えた。特に輸出が増えた製品はパソコン用部品(10.1%)、IC(1.2%)、電話及び設備(21.0%)等。

## <輸入状況>

2018年の輸入額は33,719.86百万USDで、前年比8.9%の増加だった。特に中国、米国、日本からの輸入が増えた。主な輸入製品はIC(25.7%)、電話・設備(60.1%)だった。

# プラスチック



出所：税関、財務省、産業経済局

## <生産量状況>

2018年の生産指数は前年比0.02%の増加だった。生産量が増加した製品は食器・キッチン用品・浴室用品(6.27%)、プラスチック袋製品(2.04%)等。

## <国内販売状況>

2018年の出荷数は前年比1.2%の減少だった。食器、キッチン用品、浴室用品以外は、ほぼ全品目が減少。特にプラスチックシート製品が6.79%の減少と目立った。

## <輸出状況>

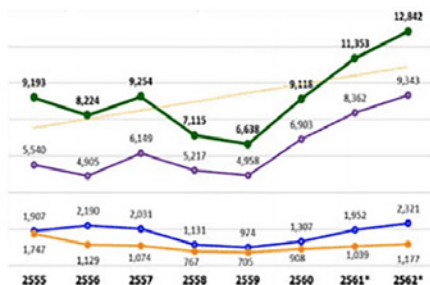
2018年の輸出額は4,376.61百万USDで、前年比11.10%の増加だった。プラスチック床材の輸出量が一番多かった。

## <輸入状況>

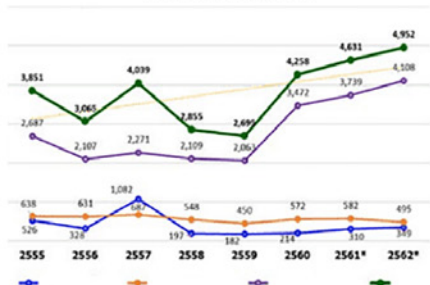
2018年の輸入額は4,763.13百万USDで、前年比8.42%の増加だった。浴室用品、キッチン用品等全品目の輸入量が増えた。

# 石油化学

石油化学産業の輸出額



石油化学産業の輸入額



## <生産量状況>

2018年の輸出額は前年比24.51%の増加、総計11,352.58百万USDだった。増加の理由は主な輸出先である中国、インドネシア、CLMV市場が拡大しているため。

## <国内販売状況>

2018年の輸入額は前年比8.77%の増加で、総計4,631.12百万USDだった。増加の理由は世界市場における原油価格の変動に連動して石油化学製品の価格も上昇したため。

## <輸出状況>

アジア市場における2018年のエチレン価格は1キロ当たり37.73パーツで、プロピレンの価格は33.20パーツだった。前年と比較して価格が上昇した。PE及びPPプラスチックの販売価格(SE Asia CFRの平均価格)は1キロ当たりLDPE 39.51パーツ、LLDPE 35.61パーツ、HDPE 43.77 パーツ、PP 41.58 パーツだった。前年と比較して、LDPE及びLLDPE は減少したが、HDPE及びPPは増加した。